

【追加資料 1】

埋立ごみの処理における中山投棄場における経費および民間委託における経費比較

埋立ごみの処理に係る経費については、施設の建設経費や、埋立終了後から施設の廃止までの間に必要となる経費等を踏まえて考える必要があり、単年度に必要な経費を単純に比較できないことから、施設の建設から廃止までに必要となる費用から、埋立ごみ 1kg あたりに必要な処理経費を算出し、比較するものとします。

◆中山投棄場における埋立ごみ処理経費

埋立期間 : 平成 10 年 9 月～平成 28 年 3 月 31 日 (17.5 年)
埋立終了～施設の廃止 : 平成 28 年 4 月 1 日～ 現在継続中
埋立期間中の埋立量 (1 市 3 町分) : 82,500 トン

(参考) 日夏投棄場

埋立期間 : 昭和 47 年 4 月～平成 10 年 8 月 (26.5 年)
埋立終了～施設の廃止 : 平成 10 年 9 月～ 現在継続中 (現在で約 19.3 年)

▶施設建設に関する総事業費

31 億円 (国からの補助金を差し引くと 24 億円)

▶排水処理に係る経費 (施設維持管理および水質検査、雨水対策工事ほか)

3,100 万円/年

埋立期間中に必要となった経費 $3,100 \text{ 万円/年} \times 17.5 \text{ 年} = 5 \text{ 億 } 4,250 \text{ 円}$

今後施設の廃止までに必要となる経費

埋立終了～施設の廃止までの期間 2 年 $3,100 \text{ 万円/年} \times 2 \text{ 年} = 6,200 \text{ 万円}$

埋立終了～施設の廃止までの期間 5 年 $3,100 \text{ 万円/年} \times 5 \text{ 年} = 1 \text{ 億 } 5,500 \text{ 万円}$

埋立終了～施設の廃止までの期間 10 年 $3,100 \text{ 万円/年} \times 10 \text{ 年} = 3 \text{ 億 } 1,000 \text{ 万円}$

埋立終了～施設の廃止までの期間 20 年 $3,100 \text{ 万円/年} \times 20 \text{ 年} = 6 \text{ 億 } 2,000 \text{ 万円}$

埋立終了～施設の廃止までの期間 30 年 $3,100 \text{ 万円/年} \times 30 \text{ 年} = 9 \text{ 億 } 3,000 \text{ 万円}$

▶覆土に係る費用 $200 \text{ 万円/年} \times 17.5 \text{ 年} = 3,500 \text{ 万円}$

【裏面へ続く】

【追加資料 1】

◎埋立ごみ 1kg あたりに必要な処理経費

閉鎖までの期間	建設に係る補助金 含まない	建設に係る補助金 含む
2 年	45.3 円/kg	36.8 円/kg
5 年	46.5 円/kg	37.0 円/kg
10 年	48.3 円/kg	40.0 円/kg
20 年	52.1 円/kg	43.6 円/kg
30 年	55.8 円/kg	47.4 円/kg

◆民間事業者における埋立ごみ処理経費

- ▶ 民間事業者における処分費用
ごみ 1kg あたり 32.4 円
- ▶ 民間事業者施設への運搬費用
ごみ 1kg あたり 3.78 円
- ▶ 伊賀市への環境保全負担金
ごみ 1kg あたり 1 円
- ▶ 中継基地設置工事費 5,000 万円
- ▶ ごみ排出量 1 年あたり 3,000 t

◎上記条件で埋立を続けた場合に必要な処理経費

民間委託の期間	1kg あたりの処理経費
5 年	40.5 円/kg
10 年	38.8 円/kg
20 年	38.0 円/kg
30 年	37.7 円/kg